

# 委員会報告

2012～2013年度

No.1

第 3 回

委員会名	政策・中長期計画委員会
委員長名	L 橋本 光祥

開催日時	2012年9月28日 金曜日 午後16時00分 ～午後17時50分					
開催場所	キャビネット事務局小会議室					
出席者	×	阿久津地区ガバナー	×	鈴木第1副地区ガバナー	×	塩月第2副地区ガバナー
	○	藤井キャビネット幹事				
	○	L 橋本光祥委員長	×	L 渡辺専太郎副委員長	○	L 小島勝利副委員長
	○	L 野村栄樹副委員長	○	L 奈須野慎二副委員長	×	L 中島高章 委員
	○	L 外山一宏 委員	○	L 浦口 純 委員	○	L 荒木貞雄 委員
	○	L 有山 賢 委員	×	L 山口 美生 委員	○	L 足立 宏道 SPA
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
	次 第	司会・進行 L 奈須野 慎二副委員長				
1		幹事挨拶・委員長挨拶 藤井キャビネット幹事 L橋本 光祥委員長				
2		開会の挨拶 L小島 勝利副委員長				
3		前回議事録の確認 L有山 賢				
4		審 議 別紙議題による				
5		日程確認・調整 L橋本 光祥委員長				
6		閉会の挨拶 L野村 栄樹副委員長				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	①アワード規定見直しについて 1)各委員の意見聴取 2)委員会ごとに規定の見直し				
	2	立案・作成 3)ガバナー特別賞及びその他の賞について 4)今後のスケジュール				
	3	②ライオンズ奉仕デーPart1, 2 10月8日ライオンズの集い(都民ひろば)				
	4	10月20日女川秋刀魚収穫祭(日比谷公園)				
	5	③その他				
	6					
次回開催日時 場所	2012年10月9日 火曜日 午後16時00分 ～午後17時30分					
	第2伊藤ビル7階会議室					

作成者	L有山 賢
-----	-------

議 題	審議経過事項の概要
1	L橋本光祥委員長挨拶
	今日から本格的に「アワード規定の見直し」の議論に入るが、日程的にも時間的にも非常にタイトなスケジュールになるので委員の皆さんの協力を是非共お願いしたいとの挨拶があった。
2	藤井キャビネット幹事挨拶
	例年並みのアワード規定ではなく、是非新しい試みをL橋本委員長には期待している。アワード予算については随時相談して頂きたい。また、ライオンズ奉仕デーについては今期キャビネット主導としては行わない方針であったが、10月8日ライオンズの集い、10月20日女川秋刀魚祭りについてはドネーション・人員の応援を含めキャビネットとして応援していく体制であるので、是非とも政策・中長期計画委員会の方でもご協力を頂きたいとの挨拶があった。
①	アワード規定の見直しについて
	1)各委員の意見の発表
	前回の委員会の際に、L橋本委員長より第57回年次大会(河合期)と第58回年次大会(大石期)のアワード申請規定・表彰規定の各委員への配布があり、それを基にして各委員は自分の担当委員会をメインに比較をし、意見を纏め発表するようとの指示があった。
	各委員から様々な意見が出た。以下がその概略である。
	L荒木貞雄委員 アワードの数が多いのではないかともう少し絞ってもいいのではないかと考えるが、前期のアワード申請規定・表彰規定を基本的に踏襲し、今後進めるのが良いのではないかと。今後のスケジュールのタイトさを鑑みてもそれがいいと考える。
	L浦口純委員 昨年政策・中長期計画委員会では各委員会の意見聴取のみを行っており、直接アワード規定には触れていない。今回が初めて直接かかわる機会になる。自分の方で過去5年間(飯田期から大石期まで)の運営部門・アクティビティ部門のアワードの比較を別表に纏めてみたが、アワード名の若干の変更が見られる以外は大きな変更点はない。例えば前期のアワード申請規定・表彰規定を基本的に踏襲するのが良いのではないかと。
	L山賢委員 前回委員会で配布された河合期・大石期の規定、受賞者リストを比較した上河合期と大石期の2期のアワード規定の比較表(アワード名・受賞クラブ数・管轄委員会など)を別表の通り纏めてみたが、やはり基本的な物は2期とも大きな変化がなく、前期のアワード申請規定・表彰規定を基本的に踏襲。10月1日の委員長会で各委員長に確認し、もし新規の物や変更があればそれを補足していく形でいいのではないかと。
	L野村栄樹副委員長 各委員会の諮問事項や方向性は幹事団が最も把握している筈なので当委員会でアワード申請規定・表彰規定を纏めるとしても、幹事団のしっかりとした精査が必要である。私も自分なりに纏めてみたが、各期によって委員会の考え方・方向性にも違いがあるのが当然であるので、やはり各委員会の現在の意見の確認は必要であると感じた。今期のガバナーの方針も当委員会のみならず、全体的に良く周知することも重要である。
	L小島 勝利副委員長 まず各委員会に前期のアワードを今期も実施するのかを確認した方が良く考える。また、各委員会に諮問(アンケートを行う)する際に示す、河合期と大石期の比較対象、また今期に新しく取り入れたいことなどがある場合の要望欄を設けた用紙を作成した。やはりアワードの内容、今後のスケジュール等を勘案すると、前期(大石期)の内容を基に

